

本当の正義の味方

今月の全校朝会(放送)でしたお話を紹介します。

今、日本は空前の「鬼滅の刃」ブームだそうです。今日はかまど炭治郎の話ではなく、校長先生が子どもの頃にテレビでよく出ていた「ウルトラマン」「仮面ライダー」「アンパンマン」のお話をします。

最初は「ウルトラマン」。校長先生が子どもの頃、ウルトラマンのテレビを夢中になって観ていました。今でも出てくる怪獣の名前を覚えています。次は「仮面ライダー」。最新の仮面ライダーはゼロワンというそうです。変身の動作を真顔でよくまねてやっていました。最後は「アンパンマン」。このキャラクターは、子どもも大人もだれでも知っていますよね。この3人に共通していることは何だと思いませんか。そうです。悪者を倒して皆の平和を守るヒーロー、つまり正義の味方ということです。

皆さんはどの正義の味方が好きですか。それぞれに好きなヒーローはいろいろいるとは思いますが、この中で皆さんになってもらいたい正義の味方がいます。それはアンパンマンです。でも、アンパンマンって、この中ではあまりカッコよくないですね。顔はまん丸で変身もしないし、武器はアンパンチだけで相手を倒すビームや戦う剣とかもない。でも、どうしてみなさんにアンパンマンになってもらいたいかわかりますか。

それは、アンパンマンだけ他の2人とはちょっと違った正義の味方だからです。ウルトラマンも仮面ライダーも地球や世界の平和を守るために悪者と戦います。それが仕事なわけです。しかし、アンパンマンは違います。確かにアンパンマンも悪いことをするバイキンマンと戦います。しかし、アンパンマンの仕事は、バイキンマンと戦うことではありません。困っている人がいたら助けにいく、お腹がすいている人がいたら、自分の顔を食べさせてお腹いっぱいにしてあげる。それがアンパンマンの最も大切な仕事なのです。



アンパンマンのすごいところはそれだけではありません。いつも意地悪ばかりするバイキンマンでさえ、困っていたり死にそうになったりすると助けてあげるのです。

本当の正義の味方とは、「困っている人がいたら、誰だろうと当たり前のように助けたり、親切にしてあげられたりできる人」だと校長先生は思います。学級の中で、意地悪をされている人がいたり、困っている人がいたりしたら、見て見ぬふりをするのではなく、当たり前のように助けてあげる。そんなアンパンマンのような心を持った本当の正義の味方に皆さんになってほしいと思っています。

校内マラソン大会 参観の自粛について

この時期に行っていました校内マラソン大会についてお知らせします。例年は体育の時間に行っていた持久走を参観者が多いためマラソン大会として案内しておりましたが、今月は2日間にわたり参観日があることなどから、体育の授業として行いたいと思います。コロナ禍の状況でもあり、参観の自粛の協力をお願いしたいと思います。